

令和元年度 第2回 学校運営協議会の報告

令和元年11月5日(火)15時40分より、令和元年度第2回学校運営協議会を開催しました。学校長の挨拶に続き、次の4点について校長から報告・説明をしました。

- ① 令和元年度学校経営計画進捗状況について
今年度の入学者選抜における志願倍率の低下についての分析
- ② 令和元年度授業アンケート(第1回)結果について
- ③ 学校教育自己診断結果の中間報告
- ④ 令和2年度使用教科書一覧

これらの報告に対して委員長を中心に協議に入り、以下のようなご提言やご意見をいただき、学校側から説明をしました。

○倍率低下に関する分析について

中学校を訪問し担当者から話を聞くなどして推察できる要因を説明。委員の方からは、志願者の動向については理解したが、在校生に対し「夕陽丘高校を選んだ理由」を聞くことにより、より中学生の思いに合致した説明会での取り組みができるのではないかと。加えて、中学校だけでなく塾など各方面からの意見を参考にした方がよい、との意見をいただいた。

- 生徒・保護者にアンケート調査を実施する。
- 11月、12月には学校説明会を開催し、夕陽丘の魅力を伝えていく。

○学校経営計画進捗状況等について

学校イメージを多面的に知る必要があるのではないかと。学校教育自己診断の項目「学校に行くのが楽しい」(89.2%)は100%にしたい。保護者の回収率が8割強であるが、もう少し上がってもいいのではないかと。広報に関しては、十分に尽力していることが伺える。との意見をいただいた。

- 大阪府立唯一の音楽科の設置校ということで音楽科に注目が集まるところもある。普通科の生徒の頑張りもしっかりアピールしていく。
- 学校教育自己診断の保護者の回収率をアップするために、配布時にメール等の手段を使い協力依頼を徹底するよう取組んでいく。

○授業観察・第1回授業アンケートの結果について

授業アンケートの平均値(3.52)は非常に高く、授業観察の様子からも先生方の授業改善に取り組んでいる姿勢がうかがえる。授業はわかりやすく努力されている。生徒も集中力を持って取り組んでいる。今後更に「主体的で対話的な深い学び」となるようにしっかり取組んでいく。また、授業アンケート項目「この時間のねらい、ポイントを伝えているか」については、満点(4.0)となるべきと考える。との指摘をいただいた。

- 授業改善については、各教科で研究し取り組んでいる。
- わかりやすく教える・聞かせるだけでなく、生徒に自ら取組む授業、生徒が主体となって取組み、対話的で深い学びに結び付ける授業展開を求めていく。

最後に学校長より挨拶があり閉会となりました。

第3回運営協議会は 1月28日(火)午後3時30分～午後5時を予定しております。